



# 人権だより



2013年度 第9号

発行所：大分県立日田林工高等学校

発行責任者：校長 生田 茂

## ねんせい じんけんぼーむるーむかつどう おこな 1・3年生の人権H R Aが行われました。

12月16日1限に1・3年生の人権H R Aが行われました。



1年生は「権利の熱気球」です。自分の乗っている気球には、「権利」という大切なものが積み込まれています。しかし、乗った気球が少しずつ落ちていきます。自分にとって大切なこの「権利」を考えながら落として行き、最後にとっても大切な3つの「権利」を残すというものです。



皆さんも考えてみませんか。下の中にある「権利」という大切なものの中で最後に残す3つはどれでしょう。なぜ、その3つを残すのでしょうか。また、なぜ他の「権利」を落とすのでしょうか。

あ ア	きれいな空気を吸う権利	い イ	自由にできるお金を持つ権利	う ウ	自分で結婚相手を選び、結婚する権利
え エ	みんなと異なっていると ころを認められる権利	お オ	いじめられたり、命令・ 服従されない権利	か カ	好きな仕事に就く権利
き キ	毎日十分な食べ物と水 を得る権利	く ク	遊ぶ〔休養できる〕 時間を持つ権利	け ケ	住む場所を選ぶ権利
こ コ	好きな本を読む権利	さ サ	毎年、旅行をして休暇を 楽しむ権利	し シ	子どもに学習させる権利
す ス	正直な意見を言い、そ れを聞いてもらう権利	せ セ	周囲の人から親切にして もらえる権利	そ ソ	ネット上で発言できる権利
た タ	自分の過ちを許しても らえる権利	ち チ	お店で好きな商品を選 べる権利	つ ツ	食べ物に対して、好き嫌 いを言える権利
て テ	子どもを産む権利	と ト	私だけの部屋をもつ権 利	な ナ	裁判を受ける権利

どれも落とせないものですね。ここにあげている「権利」というものは、どれも大切なものばかりです。今は「関係ない。」と思えるものでも生きていく中で、必要なものが多くあります。

### 【生徒の感想】

私の意見・考えではいらなかったものを他の人の意見・考えでは必要、逆に私が必要だと思  
ったものを他の人はいらなかったというように、人それぞれ違った価値観をもっていることを改めて知  
りました。グループで話し合うということはいい経験にもなり、コミュニケーションもできるので  
良かったなと思います。自分の意見を持って、他の人に話したり、他の人の話を聞いたりして、ま  
た自分の意見と照らし合わせて話し合うことが大切だと思いました。私は話したり、聞いたりする  
ことが苦手ですが、社会に出るときには、その行動はしなくてはならないものなので、グループな  
どで話し合うこのような機会をチャンスだと思って取り組んで行きたいです。(A C科)

3年生は「結婚差別」です。結婚は人生の中ではとても大切なものです。生徒の結婚観と周りの人の結婚に関するイメージの違いを理解し、何が問題なのかを考えました。また、実際に結婚に反対されている方の文を読み、自分が当事者だった場合と周りの人だった場合で、どのように行動するのか、考えました。

**【生徒の感想】**



周りに反対されても、自分は結婚しても良いと思う。今の今まで、部落の違いとか、差別によって結婚を諦めてきたりする人もいたのだと思うけど、次の世代につなげるのは、今の自分たちだし、過去のものに束縛される必要はないと思う。お互いの幸が、いつか子どものために生きるようになったりしていく。守りたいものを守っていく。少しはマイノリティーな考えがあっても良い。そして、少しずつ変わっていけばいい。私たちは変わることを恐れる必要はないと思う。思いと行動は同じにはなりにくいことがあるけれども、何か動かなければ誰の思いも考えも変わらない。諦めてしまうぐらいなら、投げ捨ててしまうものなら、そこに自分は居ないと思う。自分の思いを貫いてほしい。実際に結婚してはいないし、勝手な想像の話ですが、幸せになったり、苦しかったり、いろいろな感情と感動が合わさっているものなんだと思います。その結婚に至るまでの問題の解き方は、自分で考えなければなりません。授業では他人事のように、「大変だな。」と思うばかりでしたが、少しずつ結婚に対して自分の考えや思いが出てきたので、これからも考えて行きたいです。(A科)

こういう差別に関する授業は、小学生の時からよくあっていて、この授業をするたびに、「なんで部落とか、人種とか、そういうもので人が差別されなきゃいけないのかな。」と本当に思います。今日読んだお悩み相談の話も「絶対におかしい。」と思います。私は、この人たちには結婚したいならしてほしい、と思います。相手の親は、なかなか許してはもらえないと思いますけど、でも何年かかってもいいから、「部落差別するのは間違っていることだ。」ということをし、しっかり親に分かってもらうまで話して、教えてあげてほしいです。そういう間違った考え方をしている人たちを一人でも多く減らして行ってほしいと思うし、私もそういう人に会った時は、それはおかしいことだという事をちゃんと言って行きたいと思いました。差別や偏見というのは、たぶんいつまでもなくならないと思います。でも、みんなが正しい事をちゃんとして行けば、何かが変わるんじゃないかなと思います。今日は結婚差別について考えて、結婚する時に、相手や親が求めている条件を見ることができて、どういうことを求めているか知ることができました。(C科)

1年生も3年生も人権H Rについての思いをたくさん書いていただき、ありがとうございました。ここに載せたい内容のものがたくさんありましたが、紙面の都合で紹介できませんでした。ごめんなさい。

差別意識を解消するのは、あなた自身です。  
私たち一人一人が自覚を持って行動していくしかないのです。その輪を広げて、差別のない住みよい社会にして行きましょう。人が動き出すのを待っていても解消しません。気づいたあなたが行動を始めましょう。